

認定特定非営利活動法人SB.HeartStation



2025年8月13日 発表資料

団体の紹介

私たち SB.HeartStationは、日本の子どもたちが履かなくなった靴、着なくなった衣類、使わなくなった文房具などを、諸外国の子どもたちに寄贈し、子どもたちの健全育成を支援しています。



団体の紹介

- 1 団体の目的：国際協力、子どもたちの健全育成を図る活動
- 2 これまでの成果：フィリピン、ミャンマー、ベトナム、タイの子どもたちへ420,244点の品物を寄贈。
- 3 課題：靴の余剰在庫を作らないよう、集まったらすぐに寄贈するサイクルの構築

活動事業の概要



ミンダナオ島キダパワン地区とアンティパス地区に住む
子どもたちの教育環境、及び生活環境の改善

活動事業の趣旨と概要

靴・衣類・文房具の支援

靴・衣類・文房具の支援

日本の子どもたち



靴
衣類
文房具



仕分け作業ボランティア

日本の子どもたちが
使わなくなった
靴・衣類・文房具を贈る

支援

靴がなくて学校に行けない。
着ていく服もない・・・

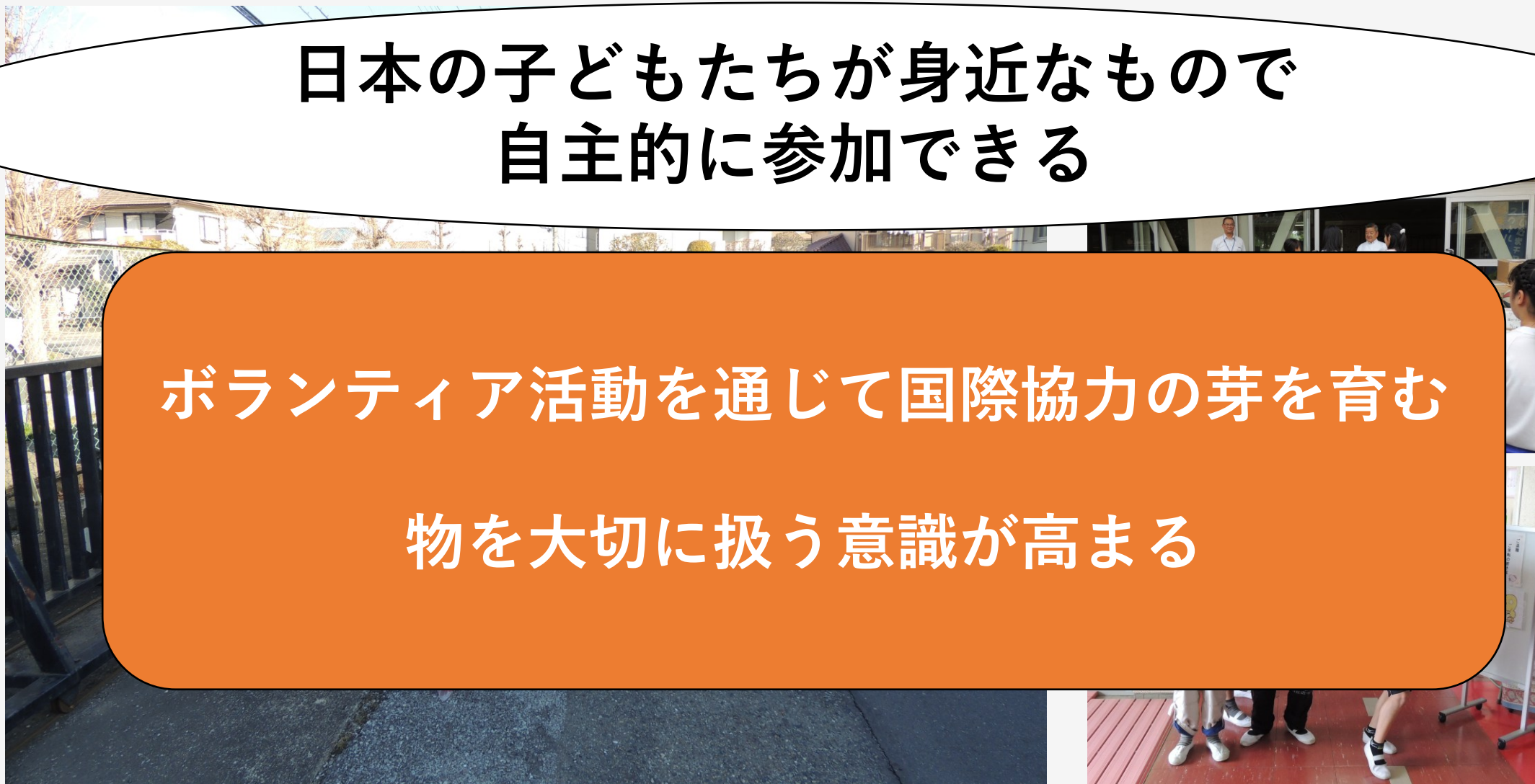


誰にでもできる国際協力活動

日本の子どもたちが身近なもので
自主的に参加できる

ボランティア活動を通じて国際協力の芽を育む

物を大切に扱う意識が高まる



令和6年度の実績【靴の収集】

【寄付品の収集数】

靴：3,581足

衣類：5,575着

文房具：4,488点

その他：195点

寄贈者：229名



令和6年度の実績【仕分け作業ボランティア】

仕分け作業・コンテナ輸送準備ボランティア
参加人数：165名



令和6年度の実績【物資の寄贈】

靴1,256足
サンダル200足
長靴118足
衣類1,380着



令和 6 年度の実績【物資の寄贈】



フィリピン・ミンダナオマグペット地区手渡しツアー

2/15(土)シティオロバス

2/16(日)マホンコグシティオプラト



活動事業の趣旨と概要

絵本の読み語り
スポーツイベントの実施

令和 6 年度の実績【絵本の読み語り】

令和 6 年度参加者：
約1、5 0 0 人



令和 6 年度の実績【スポーツイベント】

令和 6 年度参加者：約100人

セパタクロー、バレーボール、バドミントン、バスケットボール



参加者の声



MCL奨学生

絵本の読み語りができてとても楽しかったし幸せでした。
村の子どもたちも靴を受け取ってとても幸せそうでした。



靴を受け取った子どもたち

数日前から楽しみにしていました。日本の靴は壊れにくいし、
デザインもよくて嬉しいです。学校に行くときはもちろん、バ
スケットの試合でも履きたいです。



SB.HeartStationボランティア

履き古した靴を捨てずに洗って寄贈することは、環境学習の他、
日本への感謝と世界平和にも近づけると感じました。

令和7年度事業対象地域

対象国：フィリピン

地域：ミンダナオ島

キダパワン、アンティパス



活動の背景

キダパワンは、ミンダナオ地震の被災地。市街地に近いにも関わらず支援が不足している。



活動の背景

アンティパスは、少数民族が沢山住んでいる地域。未だ反政府ゲリラの戦いが続いている。



活動の背景

主な収入源はゴムの樹液採取。

仕事で得られる現金収入は少なく、平均世帯所得は国際貧困ラインの水準以下。



ニーズへの適合：靴が必要とされている理由

靴や服、文房具を買えず、通学を諦めざるを得ない子どもたち。

学校に行く為のドレスコード

自分の靴で毎日学校に通える子どもたちが増える



ニーズへの適合：靴が必要とされている理由

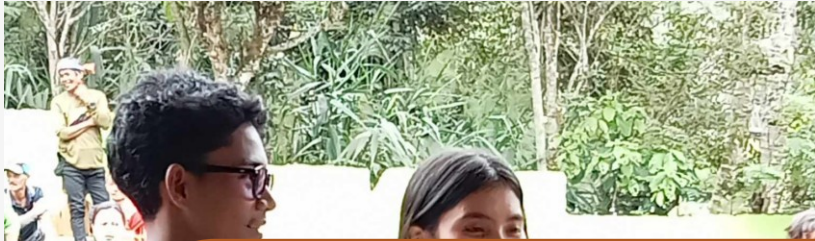
裸足での生活で大けがを負っても治療費がなく放置されてしまうことも。



怪我を予防できる



ニーズへの適合：絵本の読み語り



「学校に行き、字が読めるようになりたい！」と
通学を希望するように



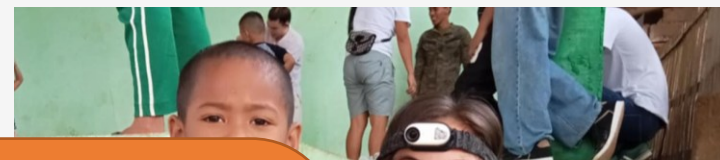
自立性・主体性

絵本読み語り、スポーツイベントを中心となって行うのは、現地協力団体MCLが支援している奨学生。



自立性・主体性

奨学生たちも紛争経験、貧困等の困難を抱え、普段は支援を受けている。



支援を受ける側の奨学生が
苦しむ人たちを支援し、
笑顔にする経験を積める



MCL奨学生のパフォーマンス



持続性・将来性

山間部の僻村は行政の支援が届きづらい。

支援が必要な子どもたちを見つけ、
支援に繋げることができる



SDG s への適合

1 貧困を
なくそう



3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



12 つくる責任
つかう責任



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



スケジュール 令和7年度

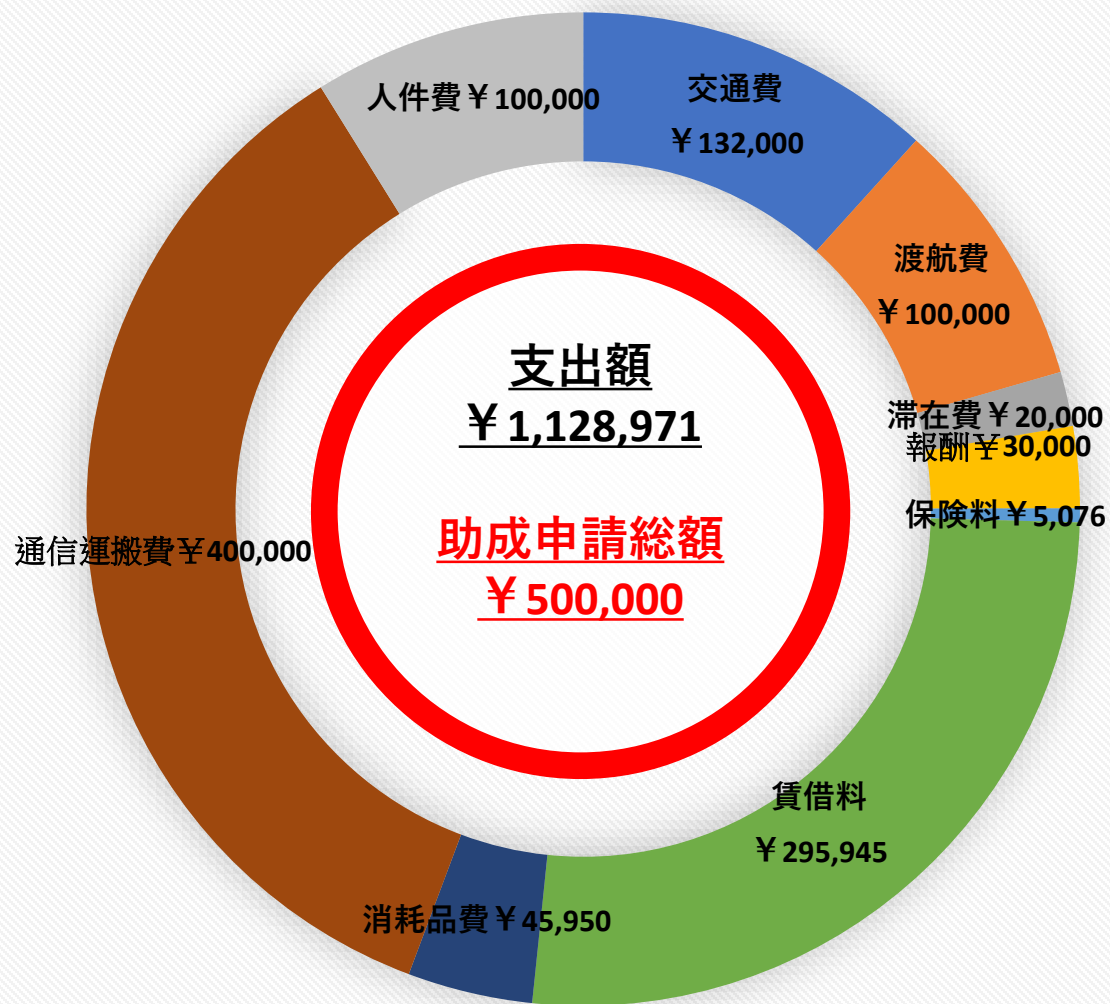
4月～6月：日本国内の子どもたちから支援用の物資を集める

7月～9月：集めた物資を箱詰めしミンダナオ島に輸送する

11月～1月：支援物資の提供と読み語り、スポーツイベント（4回を予定）実施、SB.HeartStationボランティアによる手渡しツアー

1月：支援結果の振り返り

活動費用



交通費：空港往復運賃（1名分）
ミンダナオ島内移動費等

渡航費：ダバオ行き航空券（1名分）

滞在費：ダバオ宿泊代（1名分）

報酬：MCLコーディネート料

人件費：助成対象経費の10%

保険料：ボランティア保険

賃借料：倉庫賃借料

消耗品費：仕分けダンボール、スポーツイベント用品

通信運搬費：ミンダナオ島/小口輸送
25箱

不足分は自己資金で対応

■ 交通費 ■ 渡航費 ■ 滞在費 ■ 報酬 ■ 保険料 ■ 賃借料 ■ 消耗品費 ■ 通信運搬費 ■ 人件費

認定特定非営利活動法人 SB.Heart Station

ご清聴ありがとうございました。

